

議員中央研修・東京金山会

6月17日・18日の2日間、東京都内において、議員・区長合同研修が行われ、17日に(株)セガエックスディーを訪問、その後皆川政策顧問の政策講演会、18日に第64回東京金山会に出席し交流を深めた。



(株)セガエックスディー社前で

議会のデジタル化に向けて (株)セガエックスディー訪問

金山町とトータルアドバイザー契約を締結している(株)セガエックスディーを訪問し、谷英高代表取締役社長、執行役員CEO、荻野友太課長より、概要及び金山町のデジタル化推進方策について説明をいただいた。

私たちの生活に不可欠となりつつある「デジタル技術」を必要ことから順番に、着実に推進していく必要がある。

6月定例会で設置された「議会活性化・DX推進特別委員会」において、積極的に議論していき、町民満足度が向上するように取り組んでいく。

重要」と講演。人口減少が進む中、金山町が目指すべき姿について笑いを交えてお話しいただいた。



議員・区長合同研修

政策講演会 皆川芳嗣政策顧問講話

議員・区長合同研修として、金山町政策顧問の皆川芳嗣先生を講師に招き、『人口減少下での日本と地域の未来を考える』と題し、講話をいただいた。

皆川先生は「金山の魅力は街並みが綺麗であること。だが、2040年にかけて全体的に空き家が出る。アグリツーリズムや農泊、農福連携で関係人口・定住人口を増やしていくことが重要」と講演。人口減少が進む中、金山町が目指すべき姿について笑いを交えてお話しいただいた。



皆川政策顧問

故郷の話題で交流 東京金山会

東京金山会第64回総会が東京「アートのホテル日暮里ラングウッド」を会場にして、町からは町長をはじめ、議員、区長、金山町の物産販売担当の方々40名超の参加となり、来賓を合わせ総勢145人の参加となった。

高橋和雄会長は、「新型コロナウイルスが5類に変更され、以前のように多くの方々と交流できることの喜びと金山町との情報共有をしっかりとやっていきたい」とあいさつ、久しぶりの顔ぶれに話が弾んだ。

様々な余興もあり、短い懇親の場であったが、ふるさと金山を語る楽しいひと時であった。

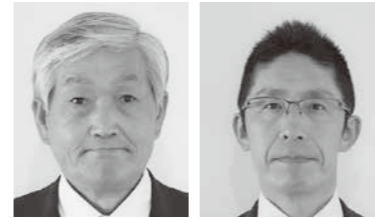


故郷の話で盛り上がる



東京金山会
高橋和雄会長挨拶

議会の活性化・DX推進に向けて



須藤委員長 大場副委員長

令和5年3月定例会において議会活性化・財政健全化特別委員会調査報告を行い、議会活性化に向けた新たな展開を図るため、改選後においても引き続き議会活性化に向けた調査検討機関を設置することを全委員で確認している。

併せて、新型コロナウイルス感染症への対応を契機に、住民サービスの利便性の向上や迅速な議会運営、多様な広報手段を活用した町民への情報発信など、金山町議会のデジタル化を推進するため、一体的な組織として「議会活性化・DX推進特別委員会」を設置した。

町では、(株)セガエックスディー社とトータルアドバイザー契約を締結しており、人口減少・少子高齢化等の地方課題をデジタル技術の活用によって解決するため、デジタル化を推進していく必要がある。

議会としても、「町民の信頼に応える豊かな町づくり」のため、「タブレットを活用した議会運営」や「議会のインターネット中継」など、町民が議会を身近に感じてもらえるよう取り組んでいく。



※DXとは…デジタル・トランスフォーメーションの略称で、「進化したデジタル技術を活用し、ビジネスだけでなく人々の生活をより良い状態へ変革すること」。

請願 審査

6月議会定例会まで提出された請願等の審査結果は下記のとおり。採択後、議員発議により、意見書を全員賛成で可決し、関係機関へ提出している。

番号	件名(請願者)	請願の主な内容	紹介議員	付託委員会	審査結果
請願第2号	食料・農業・農村基本法の見直しに関する請願 (金山農業協同組合 代表理事組合長) (金山農協農政対策本部 本部長)	将来にわたり国民へ安定的に食料を供給していくため、多岐にわたる農村基本法の見直しに際し、生産現場の声として国に対し意見書の提出を求めるもの。	中村 忠行 宮林 聡志	産業厚生 常任委員会	採択
請願第3号	平和、命、暮らしを壊す大軍拡、大増税反対についての請願 (新庄・最上母親大会連絡会 代表)	平和、命、暮らしを壊す大軍拡、大増税を止め、憲法9条を持つ国として、対話と外交による努力で、幅広い協同を広め、戦争のない平和な日本にするよう関係機関に対し意見書の提出を求めるもの。	須藤 典夫 五十嵐優一	総務文教 常任委員会	継続審査

よりわかりやすい 議会広報に向けて 第40回町議会広報研修会(7/19)

山形国際交流プラザ(ビッグウイング)において、全国コンクルールの審査員を務めるグラフィックデザイナーの長岡光弘氏を講師に迎え、町議会広報研修会が行われた。

住民の知りたいニーズに応え、関心の高い内容を重視しながら、写真などを交え、伝えるべき内容を分かりやすく短文で伝えるポイントを研修した。

これからの広報は住民の目を引き付ける誌面づくりが重要であり、例えば、写真と見出しを見れば何が書かれているかわかるような見やすい手法を心掛ける必要がある。

町民に読んでいただける「議会だより」の発行を目指し、今後も引き続き取り組んでいく。

読みやすく見やすい誌面に



読みやすく見やすい誌面に